

(様式2(1))

事業所名 グループホーム アリス甲子園

作成日: 令和 3年 10月 21日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4と6	運営推進会議や情報共有会議、施設内研修等、各委員会参加などへの取り組みが出来ていない。	行わなければならない会議や研修などを把握し日付を設定して行っていく。	開催日を明確にする。	12ヶ月
2	26	ほのぼのシステムの有効活用。①入居時の情報の把握が曖昧。②ケアプランに沿ったサービスの実施記録の活用。	①入居初期に他所からの情報をそのまま使用したりするため情報形態が様々になっているところを入居時に統一したものを作成する。②スタッフがケアプランに沿ったケアを実行した際それを記録していくことを業務に取り入れる。	①入居時時に作成する。②担当者のみならず他スタッフも意識をもちケアプランに添った介護が出来るように情報共有会議の際などに担当から他スタッフへのプラン説明を行う。	12ヶ月
3	35	コロナ禍において①年間行事や②避難訓練などこれまで行ってきた方法を取れず変更したり実施できなかったりすることが多い。	①計画書を作成し記録していく。②定期的な開催をする。	①慣れた行事に対して作成できていないことがある。次回開催時にも参照出来るように結果等も記録する。②他エリアに移動することが困難ですが、2Fへ移動していたのを6Fにしたりホールにしたり工夫し入居者様のADLや仕事量を把握しておく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。